

## 教育等の振興に関する施策の大綱 基本目標の状況

(H28.8 月末時点)

「知」の目標の状況.....	1
「徳」の目標の状況.....	3
「体」の目標の状況.....	5

掲載したデータは、平成 28 年 8 月末時点での最新データです。全国学力・学習状況調査の結果は例年 8 月末頃に公表されますが、本年度の結果については公表が遅れているため含まれていません。また、全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動状況等調査結果については、東日本大震災の影響により全国的な調査が行われなかった平成 23 年度の結果は除いています。



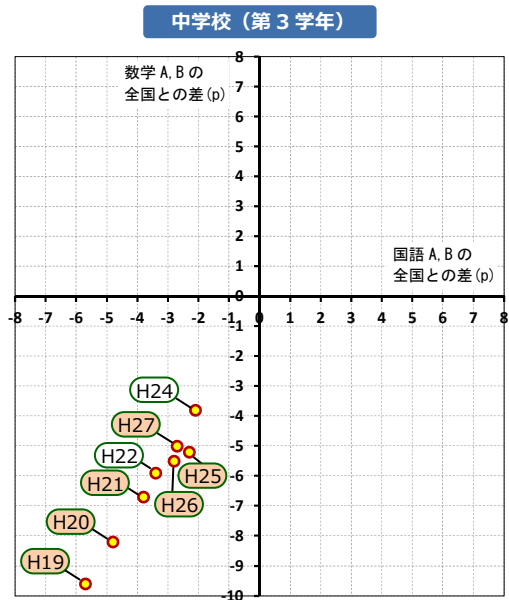
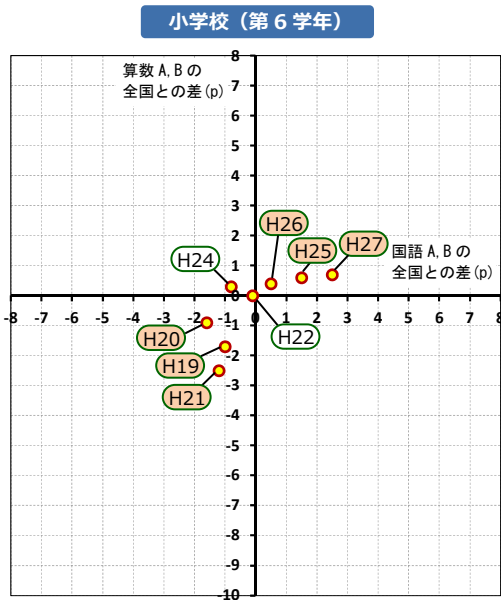
目標



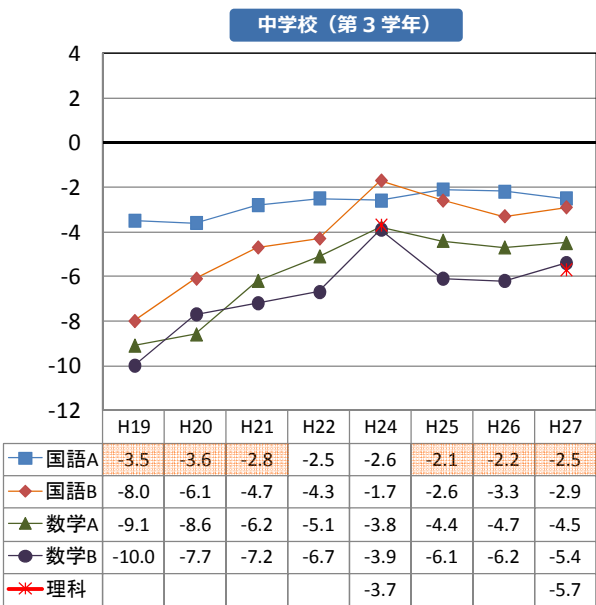
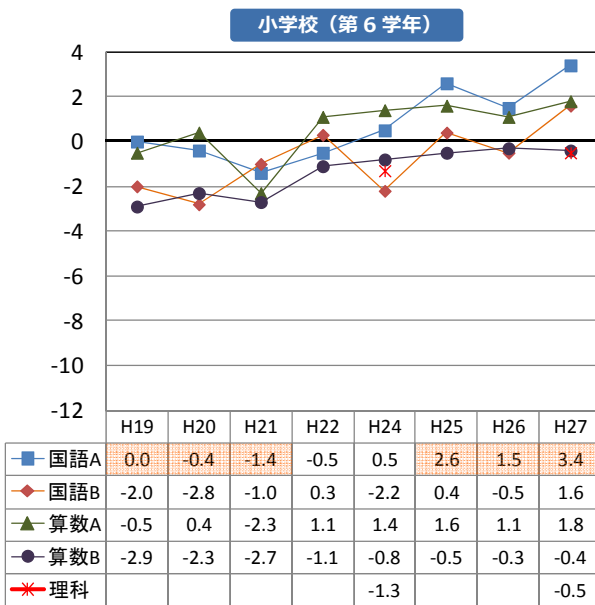
小学校の学力は全国上位を維持し、更に上位を目指す  
 中学校の学力は全国平均以上に引き上げる

■全国学力・学習状況調査結果 (H19～H27 年度)

◇本県と全国平均正答率の差



◇本県と全国平均正答率の差 (教科、問題別)



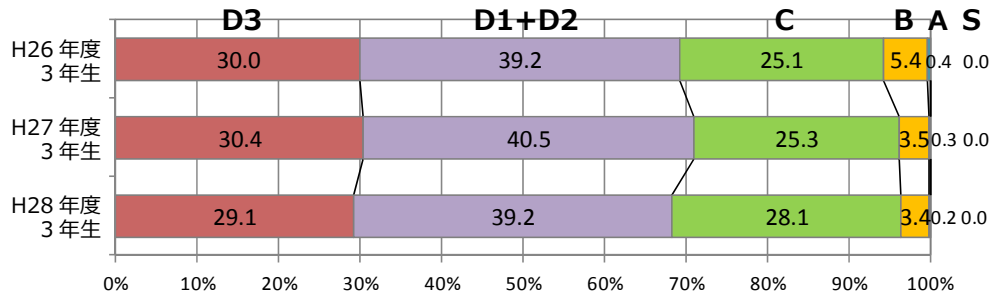
※平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度は東日本大震災の影響により全国調査は未実施

- 小・中学生の学力の状況は、全国学力・学習状況調査が始まった平成 19 年度からは改善傾向にある。平成 27 年度調査結果について校種別にみると、小学校は、国語の A・B 問題、算数の A 問題で全国平均を超え、特に国語の A 問題では全国平均を 3.4p 上回る結果となっている。中学校についても、国語・数学ともに B 問題の全国平均との差が縮まるなど改善がみられるが、総合点で見ると国語で 2.7p、数学で 5.0p 全国平均を下回っており、伸び悩んでいる。
- 3 年ぶりに実施された理科については、前回 (H24) の結果と比較すると、小学校では改善がみられるものの、中学校では全国平均との差が開いており、特に、自然現象を科学的に考え、表現することに課題がみられる状況となっている。



**目標** 高校3年生の4月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を15%以下に引き下げる

■ 学力定着把握検査結果（3年生4月の調査結果）



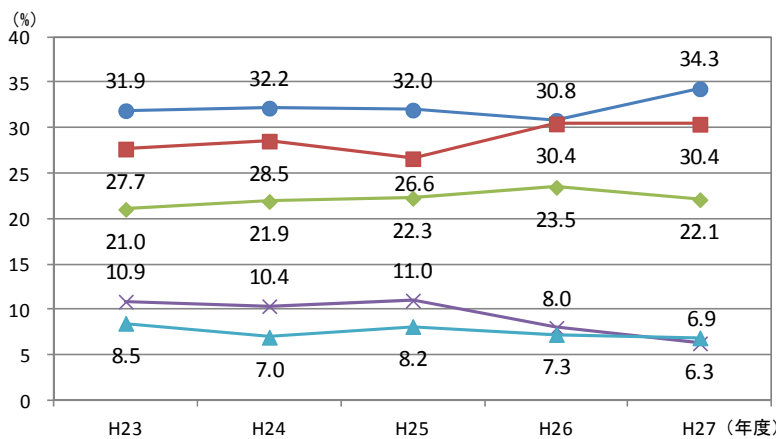
※県立高校36校（全日制及び昼間部）で実施  
 ※数値は学力定着把握検査Ⅰ（30校）と学力定着把握検査Ⅱ（6校）の結果を合わせたもの  
 ※評価尺度である学習到達ゾーンの内容は下表のとおり

学習到達ゾーン (GTZ)		進路選択肢	
		進学	就職
Sゾーン	S1～S3	難関大学合格レベル(最難関大はS1)	上場企業などの大手の就職筆記試験や公務員試験に対応できるレベル
Aゾーン	A1～A3	国立大合格レベル	
Bゾーン	B1	公立大学合格レベル(一般入試)	
	B2・B3	国公立大の推薦入試に合格可能で、私立大の一般入試では、選択肢が広がるレベル	
Cゾーン	C1～C3	私大・短大・専門学校の一般入試に対応可能なレベル	就職筆記試験における平均的評価レベル
Dゾーン	D1	上級学校に進学することはできるが、授業についていけず、苦勞する学生が多い	就職試験に必要な最低限のラインはクリアしているが、仕事をする上で支障が出ることが多い
	D2		
	D3		



**目標** 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下にする

■ 公立高等学校卒業者（全日・定時・通信制）の進路状況



※就職については高知県就職対策連絡協議会調べ、進学については高知県進学協議会（H24まで）、高等学校課（H25以降）調べによる  
 ※就職率・進学率は、公立高校卒業生全体に占める割合  
 ※進路未定には、具体的な進学・就職先が未定の生徒、パート・アルバイト等の生徒も含む

高知県就職対策連絡協議会、高知県進学協議会、高等学校課調査

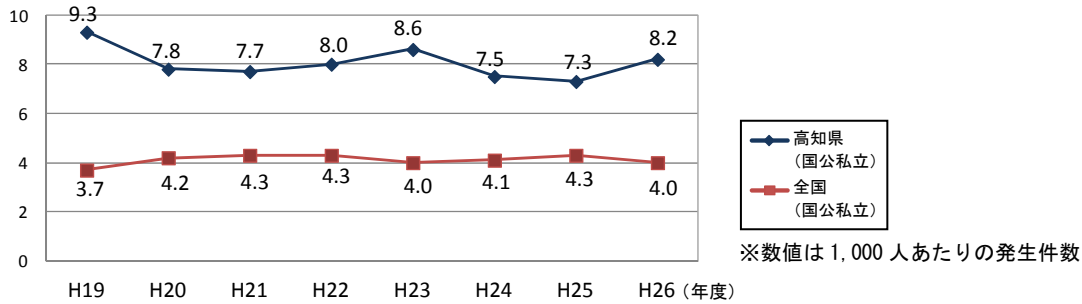
- 高校生の学力の状況について、4月の学力定着把握検査結果をみると、3年生の約70%がDゾーン、うち約30%がD3ゾーンという厳しい状況にある。
- 公立高等学校卒業者の進路の状況については、平成27年度の進路未定の割合は6.3%と前年に比べ1.7ポイント減少した。



生徒指導上の諸問題（不登校、暴力行為、中途退学）の状況を全国平均まで改善する

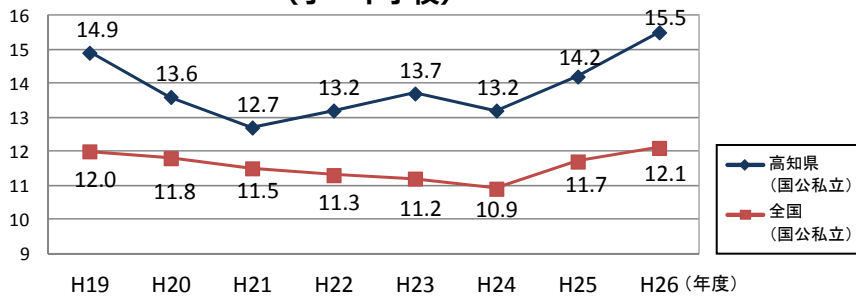
■ 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果 (H20～26 年度)

◇ 暴力行為 (小・中・高等学校)

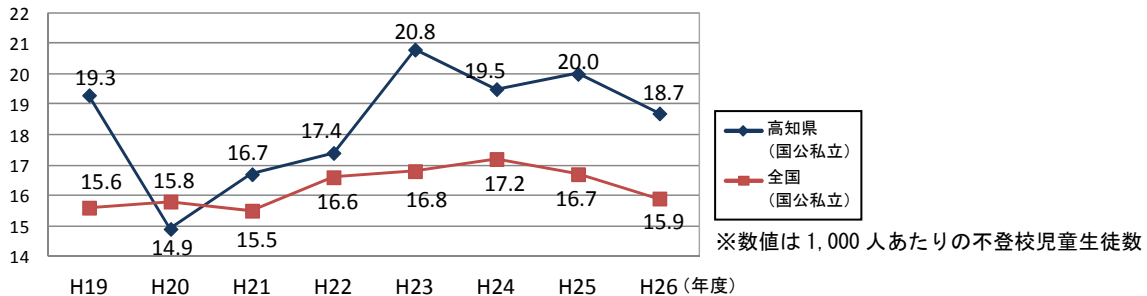


◇ 不登校

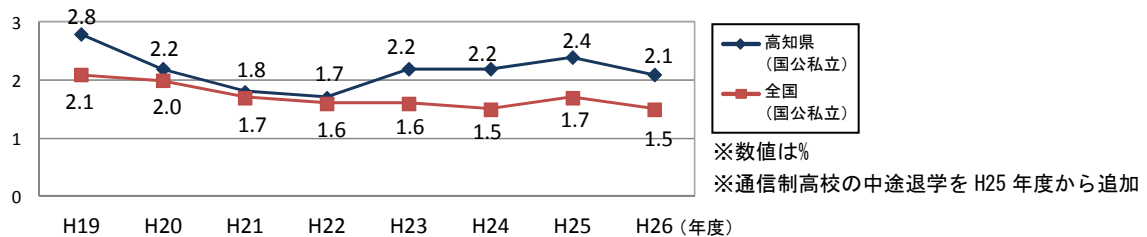
(小・中学校)



(高等学校)



◇ 中途退学



- 小・中・高等学校の暴力行為発生件数(千人あたり)は、平成 26 年度は 8.2 件(全国 4.0 件)となり、平成 25 年度の 7.3 件から大きく増加している。
- 小・中・高・特別支援学校のいじめ認知件数(千人あたり)は、平成 26 年度は 9.4 件(全国 13.7 件)となっている。
- 不登校児童生徒数(千人あたり)は、小・中学校で 15.5 人(全国 12.1 人)、高校で 18.7 人(全国 15.9 人)となり、いずれも全国平均を上回っている。特に、小・中学校では、平成 24 年度にはやや減少したが、平成 25 年度以降、再び増加傾向にある。
- 高校生の中途退学率は、全日制・定時制高校(通信制を除く)では、平成 26 年度は前年度と比べて 0.3p 改善し 2.1% となった。



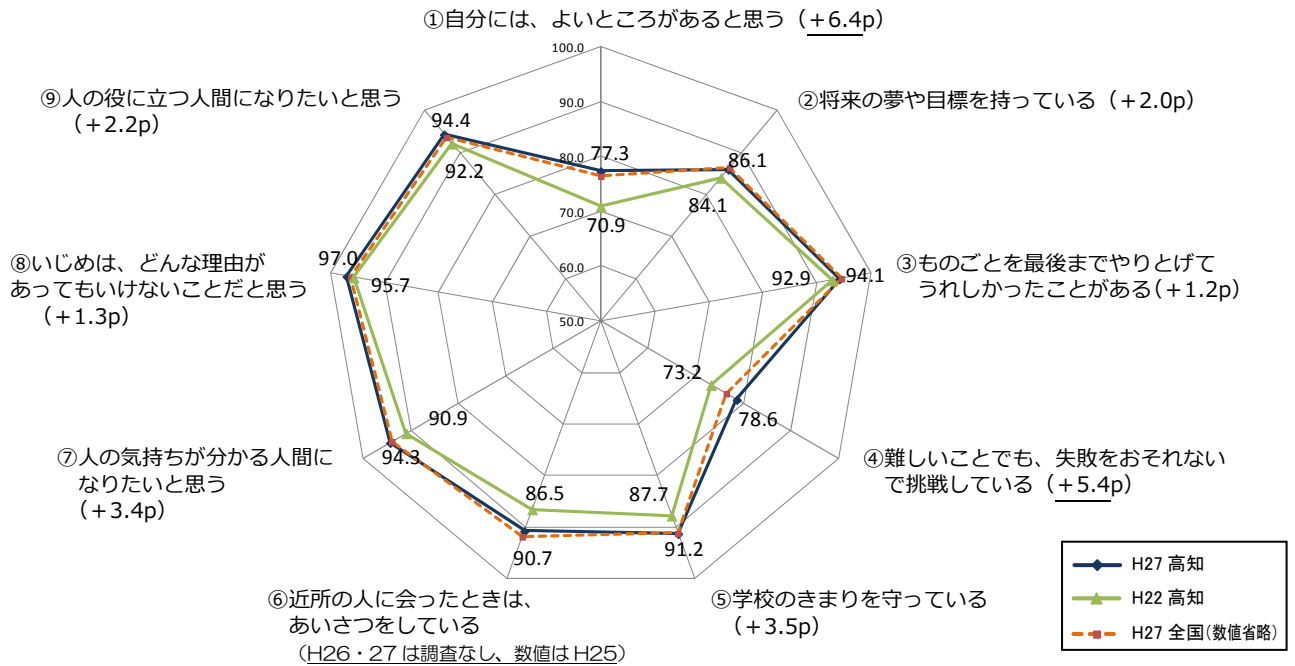
## 全国学力・学習状況調査における児童生徒の道徳性（自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神等）意識調査結果で、全国平均を3ポイント以上上回る

### ■全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査結果抜粋（H22、H27年度調査結果の比較）

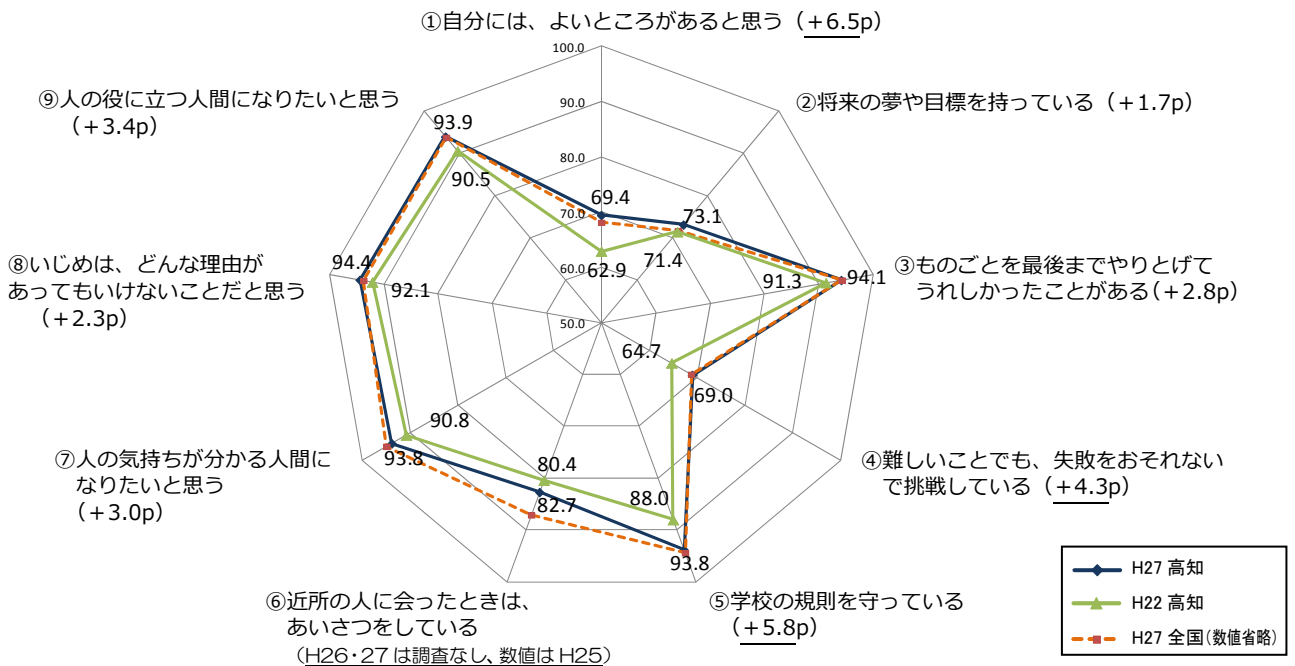
※各質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合（%）

※質問項目横の（ ）内数値は、平成22年度の本県調査結果との差（H27高知-H22高知）

#### 小学校（第6学年）



#### 中学校（第3学年）



■平成27年度の調査結果（⑥はH25調査結果）について全国と比較すると、中学校の⑥「近所の人に出会ったときは、あいさつをしている」を除き、小・中学校ともに全国平均とほぼ同じ状況となっている。また、平成22年度の本県調査結果と比較すると、小・中学校ともに、すべての項目で肯定的な回答の割合が増加している。特に①「自分には、よいところがある」、④「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」、⑤「学校のきまり（規則）を守っている」の質問で、比較的大きな改善がみられる。

■①「自分には、よいところがある」、②「将来の夢や目標を持っている」、④「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」の質問で、高知県、全国ともに中学校での大きな落ち込みが見られる。



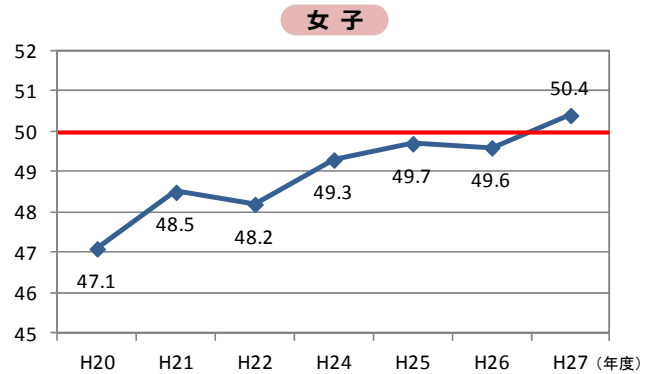
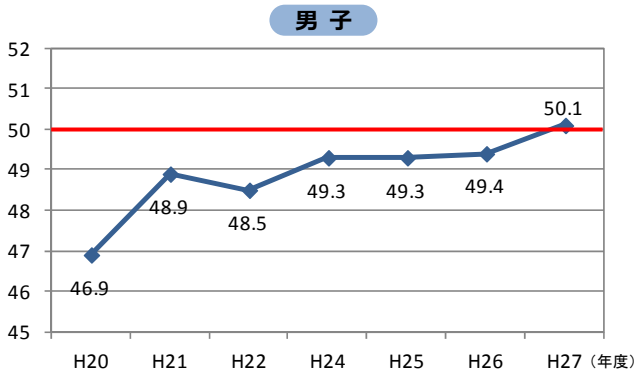
小学校の体力・運動能力は全国上位に、中学校の体力・運動能力は全国平均以上に引き上げる

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (H20～27年度)

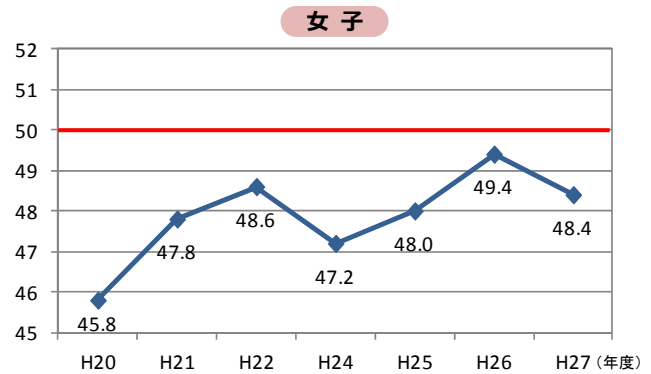
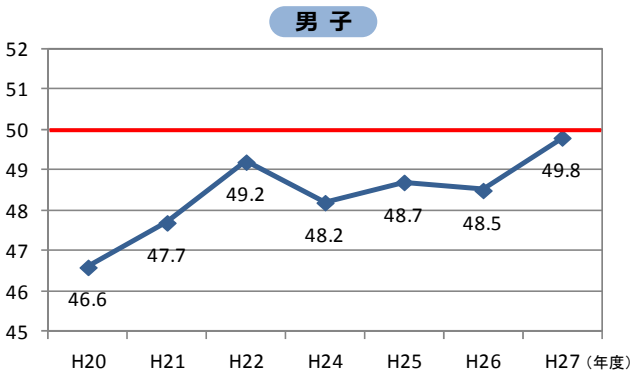
※平成23年度は東日本大震災の影響により全国調査は未実施  
※数値はT得点 (全国平均=50)

◇体力合計点 (8種目の実技の総合点) の推移

小学校 (第5学年)

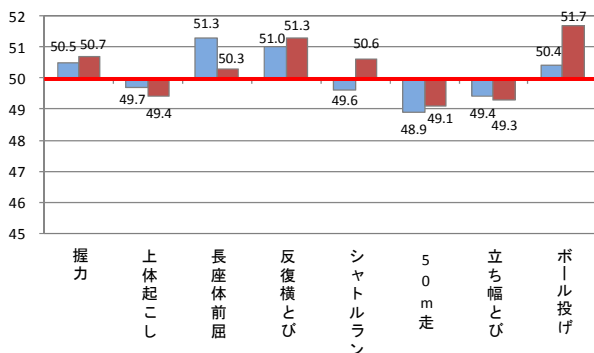


中学校 (第2学年)

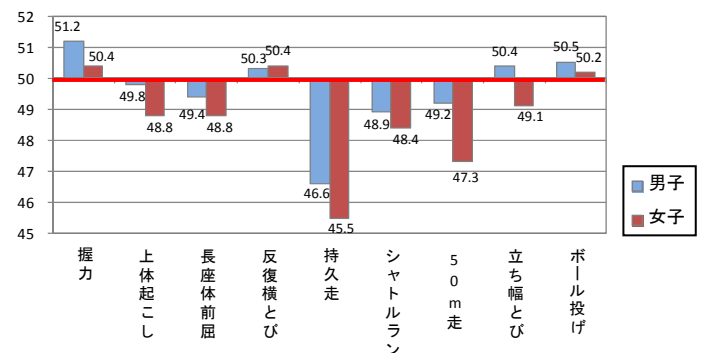


◇種目別結果 (H27年度)

小学校 (第5学年)



中学校 (第2学年)



■ 男子  
■ 女子

■児童生徒の体力等の状況は、調査が始まった平成20年度は全国最低水準にあったが、その後は着実な改善傾向を示している。平成27年度の調査結果では、小学校は男子、女子ともに重点プランの目標である全国平均を初めて上回り、中学校男子もほぼ全国平均に達している。中学校女子についても、全国平均には届いていないものの、過去3番目に高い結果となっており、全体的にみて上昇傾向にあるといえる。